

「教員＝高度専門職」を保障するシステム としての教職大学院

※ビデオオフ マイクオフ にてご参加ください。
※名前（所属）をご入力ください。

露口健司(愛媛大学教職大学院・専攻長)
tsuyuguchi.kenji.mg@ehime-u.ac.jp

教職大学院で共に学びたい主要テーマ



<http://ed.ehime-u.ac.jp/kyoushoku/>



※オリジナルWEBサイトはご覧頂けましたでしょうか？

本日の内容

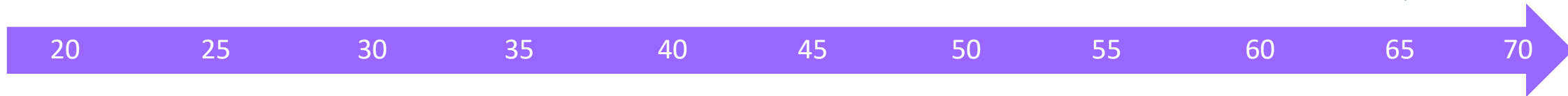
1. 高度専門職は修士相当の資格
2. 教職大学院の理念・カリキュラム・授業
3. 教員組織
4. 入試・採用試験実績
5. 募集要項について
6. 現役大学院生からのメッセージ

※質問タイム

教職キャリアの大変革期!!

定年延長で65歳。そこから再任用で70歳。
職業キャリアが10年延びる??

現在の直線上に未来はない!!



40歳以上の
教員

現場経験10年以上

教職修士

学部卒業者

教職修士

現場経験10年以上

教職博士 (Ed.D)

中央教育審議会でも議案
となっている!!

安心の上位号棒スタート!!

教職博士を取得して、
学校管理職・指導主事・教育長・大学教員等へ

学校管理職・指導主事・教育長
大学教員・研究職
SC・SSW・外部人材

Ed.D

教諭 (修士)

教諭 (学士)

米国の教育長は、約60%が博士課程進学者。
約30%が博士号 (Ed.D) 取得。

高度専門職は6年間以上の養成期間を要する

- 医師（6年間＋研修生）
- 薬剤師（6年間養成）
- 研究者（学部4年＋大学院修士・博士5年）
- 弁護士（学部4年＋ロースクール2年）
- カウンセラー（学部4年＋大学院2年）
- 経営管理職（学部4年＋ビジルススクール2年）
- 公認会計士（学部4年＋専門職大学院等2年）
- その他、公衆衛生や公共政策の専門職大学院

教職にも「臨床医」の期間が必要!!

教員（学部4年＋教職大学院2年）

R6入試より、3.5＋1.5の5年養成

「臨床医」期間で理論と実践の往還を具現化

数回の授業経験で
いきなり学校へ
学部卒の1-2年目は子ども
の学力を下げてしまいます



学校現場のカベ



理論を実践し、実践から理論を生成する。



教職大学院を経験した教員は、
職務・職場・職業・職能への
適応度が高い!!

学部教育

教職大学院の2年間
1年目週1.5日の実習
2年目3-4日の実習

理論

臨床医に相当する養成期間が必要!!

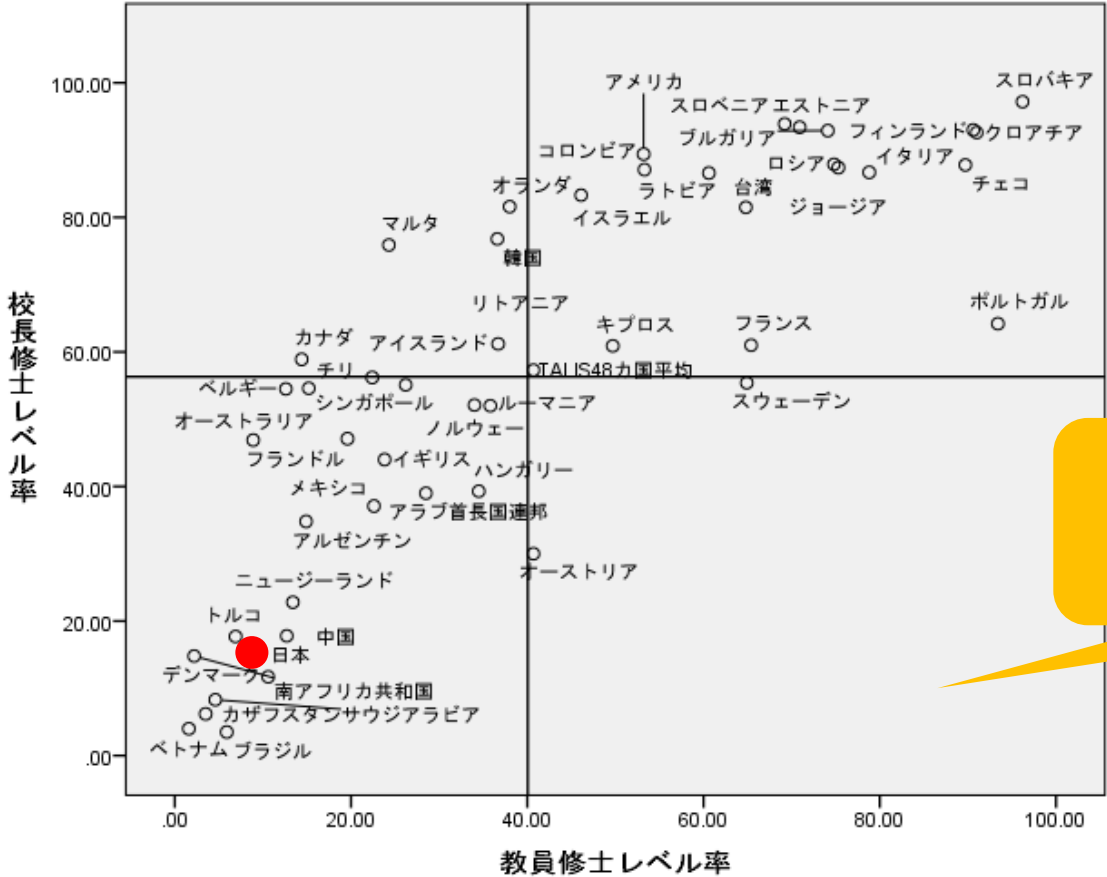
実践

教員修士レベル率と校長修士レベル率

日本の教員は世界水準で見ると低学歴。

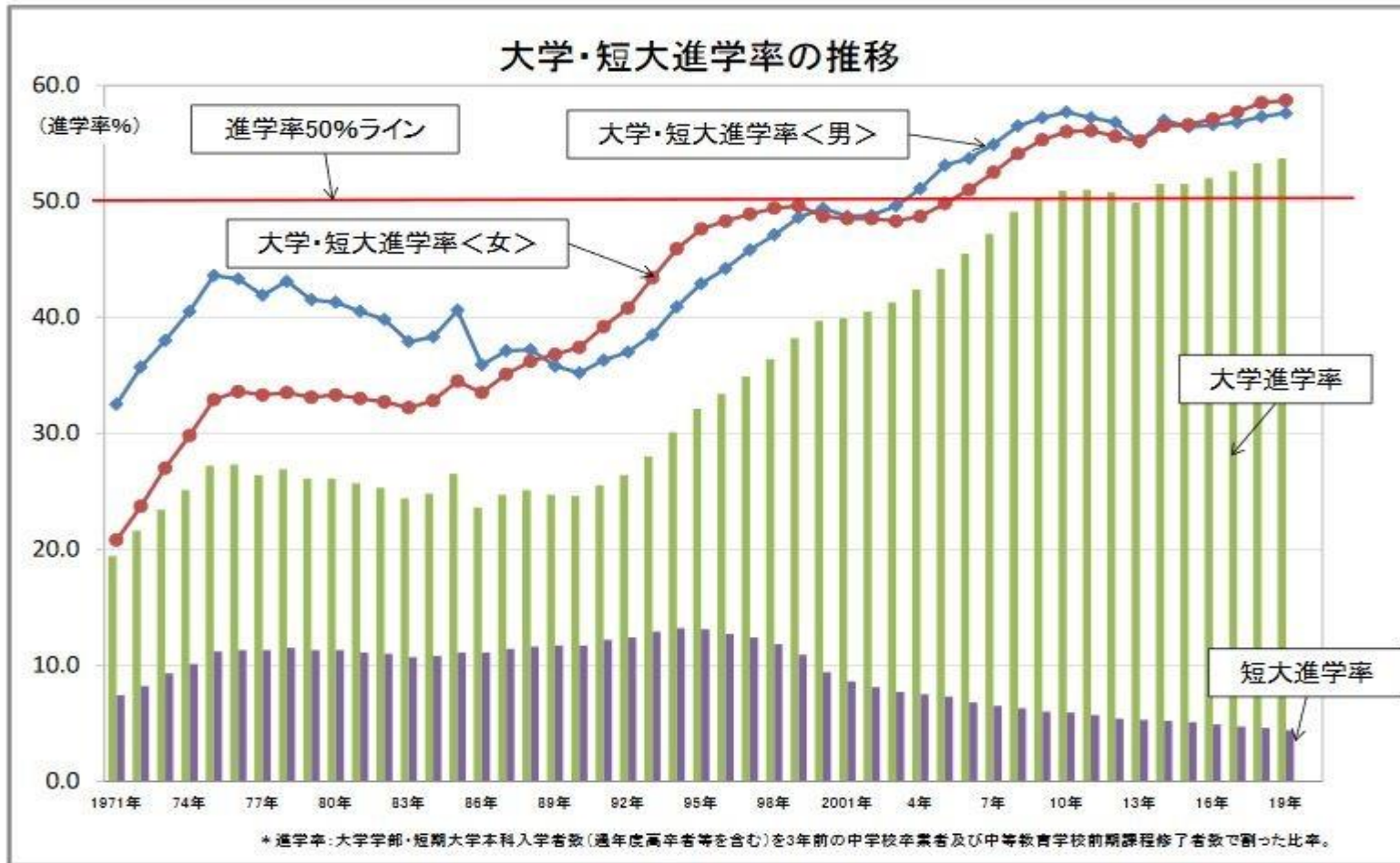
校長に至っては資格に疑念をもたれる可能性がある。

世界の教員は経験至上主義ではなく、理論と実践の往還で動いている。



政府も大学院進学率の低さを問題視!!
大学院授業料後払い制度導入を検討!!
専門職大学院の1年修了特例を検討中!!

保護者の大半は大卒になります あなたと同じ学歴です



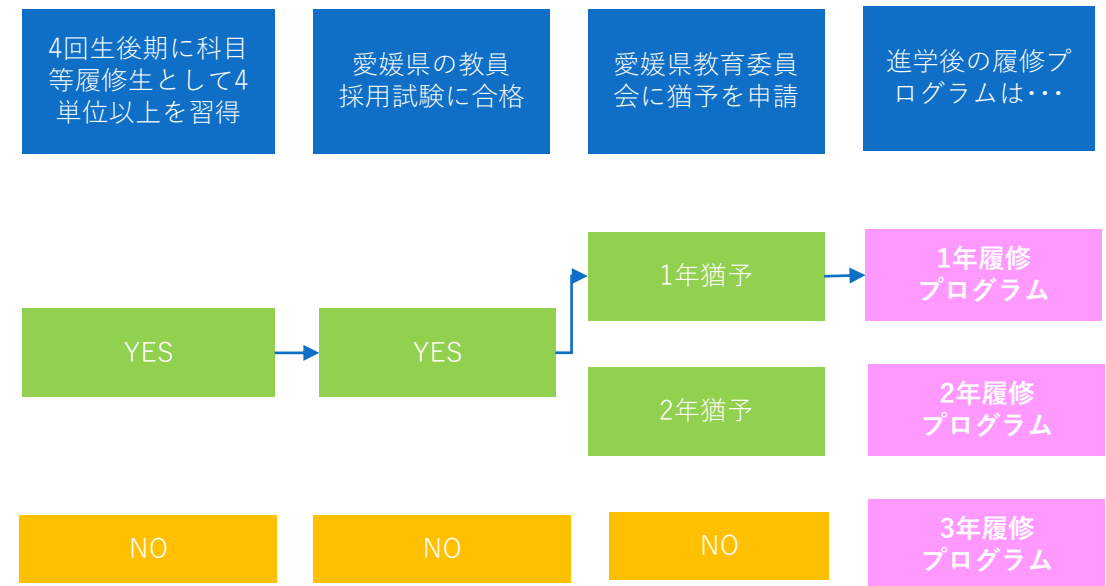
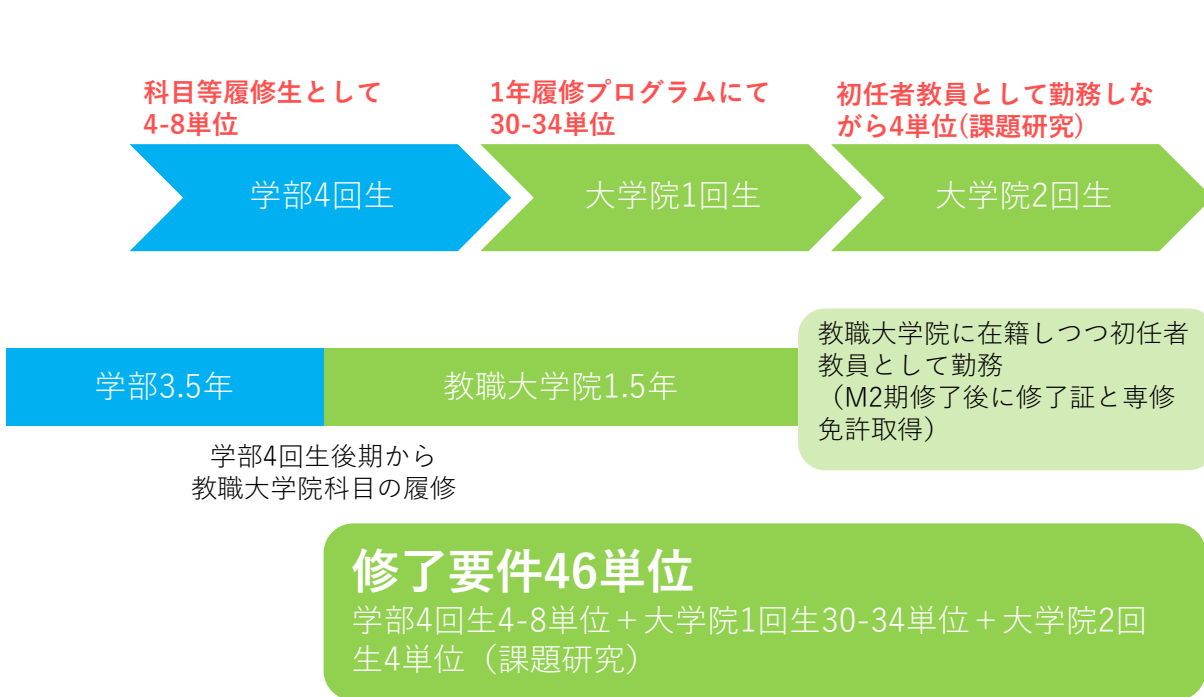
愛媛大学教職大学院5年一貫養成システム（1年履修プログラム）の概要

【1年履修プログラムの主旨】

4回生後期から教職大学院の履修を開始し、M1期に1年履修プログラムにおいて履修の大半を終え、M2期には初任者教員として勤務しながら残りの単位を履修する。養成の拠点を、学部・実習校・勤務校へと漸進的に移動させ、また、初任者教員として教職大学院の支援を継続的に受けることで、臨床経験の質が飛躍的に向上する。休職・離職率の激減、学生の経済的負担の激減が期待できる。

【1年履修プログラムの対象者】

以下の2つの要件を満たす者。学部時代に、科目等履修生として教職大学院共通基礎科目を4単位以上履修した者。学部時代に、愛媛県公立学校教員採用選考試験に合格した者。なお、対象校種は、小学校・中学校・高校・特別支援学校とする。



※令和7年度以降は、学部卒業者で1年修了となる可能性があります。

理念・カリキュラム・授業

- 特色1. 地方総合大学の教職大学院なのに「**教科領域コース**」がある。
- 特色2. 「**特別支援教育コース**」では基礎免許となる校種の専修免許状と特別支援学校教諭専修免許状の両方が取得できる。
- 特色3. 地方総合大学の教職大学院なのにやたらと**規模が大きい**。
- 特色4. 「教育実践開発コース」では、全国唯一の**ICT教育高度化プログラム**がある。
- 特色5. **連携協力校の数**が国内最大規模。
- 特色6. 異校種実習、小規模校実習、研究指定校実習、連携校実習3（期間限定の集中型実習）等、**多様な実習科目**が配置されている。
- 特色7. 研究者教員と実務家教員の**2名が責任指導教員**。
- 特色8. 理論（月火）・実践（水木）・省察（金）サイクルの週時程。



愛媛に求められる教職大学院とは!!

スキルアップとキャリアアップを保障する
「地域の先端教育研究拠点」

● Professional Development

高度専門職人材の育成拠点

世界標準の専門職人材

● Research Development

先端知識の生成拠点

ICT活用トップ5%人材

● Innovation & Empowerment

愛媛の教育改革拠点

学校・地域活性化の中核人材

愛媛大学教職大学院コース設定（R6入試予定）

リーダーシップ開発コース（5名）

- **現職教員**（学校管理職候補者）を対象
- 教員個々の指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献でき、また、教員相互をはじめとして、学校と保護者・地域との間に連携協力関係の基盤となる信頼を構築するリーダーシップを発揮できる学校管理職を養成する。愛媛の教育改革を推進するリーダー候補の育成

愛媛の教育改革を推進するリーダー候補の育成

教育実践開発コース（10名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる学級経営・生徒指導・ICT教育についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

校内研究を推進するリーダー候補の育成

教科領域コース（15名⇒20名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象。
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる教科指導についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

教科指導・研究を推進するリーダー候補の育成

特別支援教育コース（10名⇒5名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象。
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる特別支援教育についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

特別支援教育・研究を推進するリーダー候補の育成

R6より、養護教諭専修免許状課程を新設予定

愛媛大学
教職大学院

愛媛県教育委員会が教員育成指標において求める実践的指導力・組織力・信頼構築力・人間力の基盤を形成する。

DP1：知識・理解

学校改善・授業改善等に関して高度な専門的知識を習得している。

DP2：技能

学校改善・授業改善等にかかわる高い技能を身につけている。

DP3：思考・判断・表現

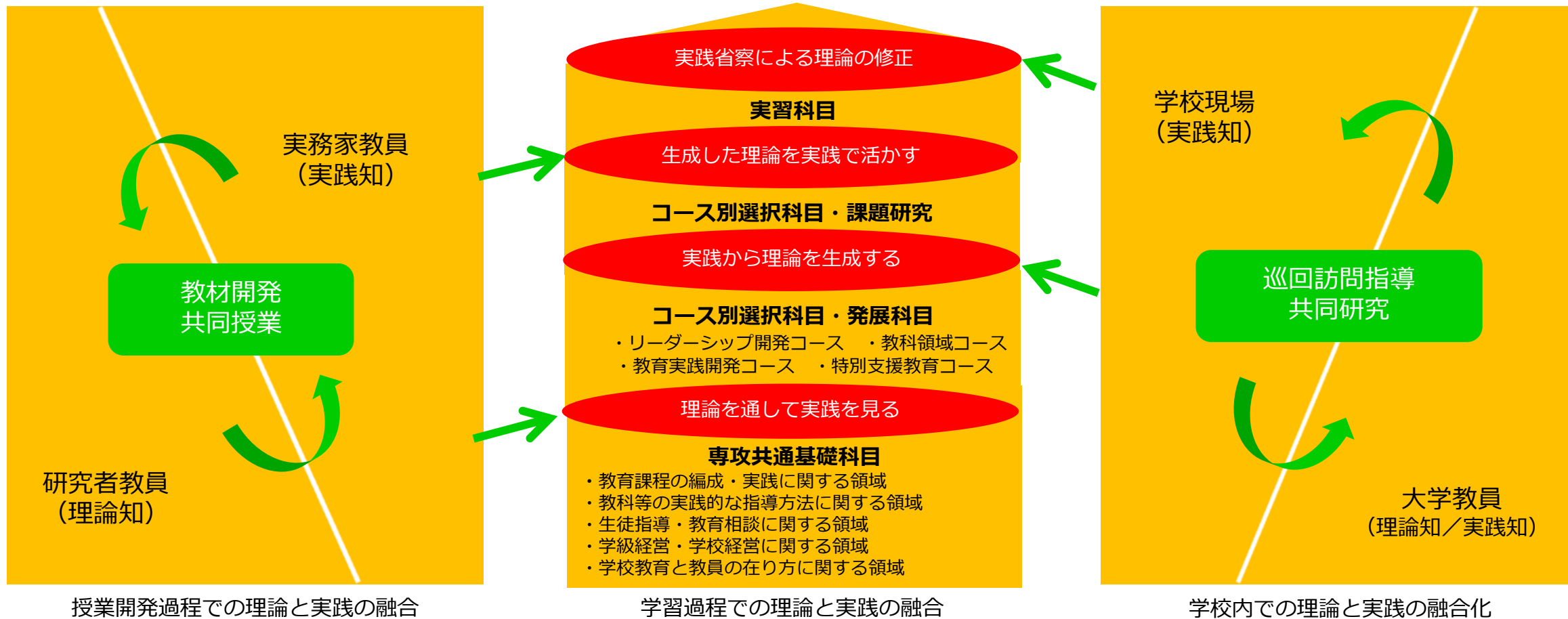
学校教育にかかわる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方を適切に考え、高度な実践力をもって学校改善・授業改善等に取り組むことができる。

DP4：関心・意欲・態度

学校に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な教育実践力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自主的に社会に貢献しようとする。

2年次

1年次



大学・教育委員会・連携協力校の連携協力体制

AP1：知識・理解

教職大学院での履修に必要な基本的専門知識を習得している。

AP2：技能

教職大学院での履修に必要な基本的技能を習得している。

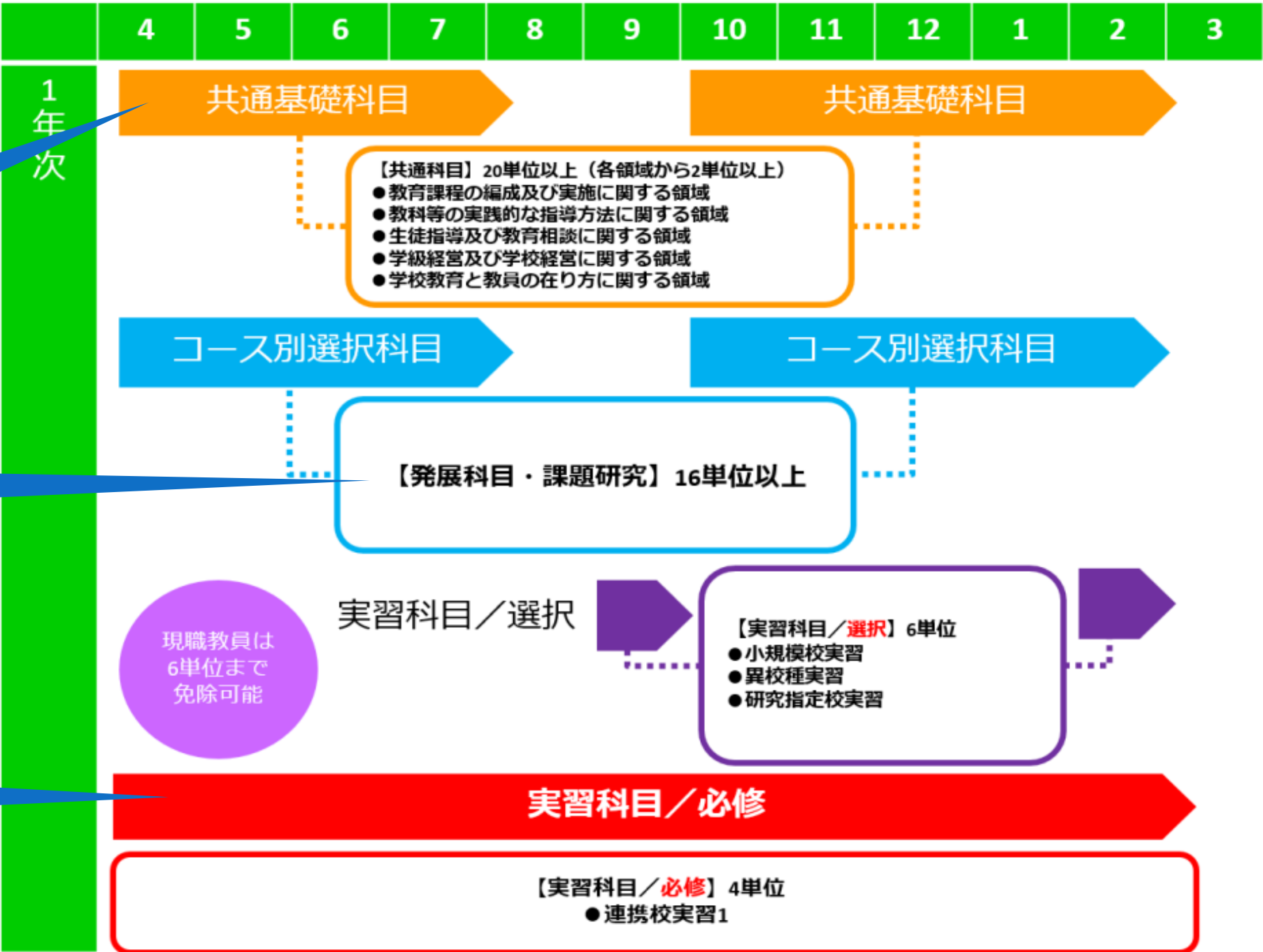
AP3：思考・判断・表現

教育をめぐる現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方を総合的に考え、その課程や結果を適切に表現することができる。

AP4：関心・意欲・態度

自己の学習課題・成長課題を明確に意識し、教師として自主的にそれらに取り組もうとする意欲を有し、自発的に社会に貢献しようとしている。

教育実践開発コース



1年履修プログラムの院生は、学部時代に共通基礎科目を4-8単位取得済み

- 【共通科目】20単位以上（各領域から2単位以上）
- 教育課程の編成及び実施に関する領域
 - 教科等の実践的な指導方法に関する領域
 - 生徒指導及び教育相談に関する領域
 - 学級経営及び学校経営に関する領域
 - 学校教育と教員の在り方に関する領域

1年履修プログラムの院生は、M1の年度末に修了認定プレゼンを実施。

【発展科目・課題研究】16単位以上

現職教員は6単位まで免除可能

- 【実習科目/選択】6単位
- 小規模校実習
 - 異校種実習
 - 研究指定校実習

1年履修プログラムの院生は、M1で実習科目10単位取得

- 【実習科目/必修】4単位
- 連携校実習1



1年履修プログラム以外の院生は、従来通り2年間で履修。

専攻共通基礎科目（20単位） 各領域から2単位以上

区分	領域	授業科目	単位	免許	リーダー	教育実践	教科	特別支援	
専攻共通基礎科目	教育課程の編成及び実施に関する領域	授業研究の開発実践	2	幼少		○			
		授業開発の理論と実際	2	中高			○		
		地域協働型デジタル教材開発演習 ※履修証明制度	4 (通年集中)	幼少	○	○	○	○	
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	心の教育の理論と実践	2	幼少			○	○	
		授業における学習支援と指導法の事例分析	2	中高	○			○	
		小学校英語教育の実践研究	2	小			○		
	生徒指導及び教育相談に関する領域	子どもの発達と感情	2	全			○	○	○
		子ども理解の心理アプローチ（調査法） ※ストマス	2	全			○	○	○
		特別支援教育の理論と実践	2	全			○	○	○
		生徒指導・進路指導の実践研究	2	中高	○			○	
	学級経営及び学校経営に関する領域	学級経営の理論と実践	2	全	○	○	○	○	○
		学校組織のリーダーシップ	2	全	○	○	○	○	○
		データを活用した学校経営（調査法） ※現職	2	全	○				
		子どもの資質・能力を高める学校経営論	2	全	○				
	学校教育と教員の在り方に関する領域	教員の成長と職業倫理	2	全	○				○
		教師のライフヒストリー省察と資質能力開発	2	全	○	○	○	○	○
		チーム学校協働演習 ※履修証明制度	4 (通年集中)	全	○	○	○	○	○
		愛媛の教育改革 ※松山市教育研修センター	2	全	○	○	○	○	○

○印は推奨科目

リーダーシップ開発コース コース別選択科目（16単位）

発展科目

エビデンスに基づく教育政策・事業分析	2
人材育成演習	2
教員研修プログラム開発演習	2
カリキュラムマネジメントと校内研修	2
信頼を構築する学校危機管理	2
地域とともにある学校の経営	2
学校改善の実践的研究	2

課題研究

学校改善課題研究1	◎	2
学校改善課題研究2	◎	2

注1) 数値は単位数

注2) ◎は必修科目、○は推奨科目

教育実践開発コース コース別選択科目（16単位）

発展科目

		学級経営高度化 プログラム	生徒指導高度化 プログラム	ICT教育高度化 プログラム
教材開発高度化演習	2	○	○	○
特別な教育ニーズへの対応	2	○	○	○
学級経営の事例研究	2	○		
教育課題解決のための教育プログラム開発演習	2	○		
児童生徒・保護者の教育相談実践	2	○		
集団づくりの道徳論的アプローチ	2	○		
生徒指導機能を生かした学習指導	2		○	
子どもの問題行動の事例研究	2		○	
生徒指導と特別活動の実践研究	2		○	
進路指導の実践研究	2		○	
デジタル教材開発とその利用方法	2			○
ソフトウェアを活用した校務支援	2			○
プログラミングを活用した授業実践	2			○
ICTを活用した授業実践開発	2			○

課題研究

授業改善課題研究1	2	◎	◎	◎
授業改善課題研究2	2	◎	◎	◎
授業改善課題研究3	4	○	○	○

教科領域コース／コース別選択科目（16単位）

発展科目

		言語社会教育系プログラム		自然科学系プログラム		芸術生活健康系プログラム	
教科指導力高度化演習基礎	2	○		○		○	
教科指導力高度化演習発展	2	○		○		○	
		教材研究の基礎理論（現代の国語）	2	教材研究の基礎理論（代数）	2	教材研究の基礎理論（スポーツ）	2
		教材の開発と実践（現代の国語）	2	教材の開発と実践（代数）	2	教材の開発と実践（スポーツ）	2
		教材研究の基礎理論（言語文化）	2	教材研究の基礎理論（幾何）	2	教材研究の基礎理論（健康）	2
		教材の開発と実践（言語文化）	2	教材の開発と実践（幾何）	2	教材の開発と実践（健康）	2
		教材研究の基礎理論（書写書道）	2	教材研究の基礎理論（解析）	2	教材研究の基礎理論（食物）	2
		教材の開発と実践（書写書道）	2	教材の開発と実践（解析）	2	教材研究の基礎理論（被服）	2
		教材研究の基礎理論（歴史）	2	教材研究の基礎理論（応用数学）	2	教材の開発と実践（食物・被服）	2
		教材の開発と実践（歴史）	2	教材の開発と実践（応用数学）	2	教材研究の基礎理論（保育・家庭生活）	2
		教材研究の基礎理論（地理）	2	教材研究の基礎理論（物理）	2	教材の開発と実践（保育・家庭生活）	2
		教材の開発と実践（地理）	2	教材の開発と実践（物理）	2	教材研究の基礎理論（器楽）	2
		教材研究の基礎理論（公民）	2	教材研究の基礎理論（化学）	2	教材の開発と実践（器楽）	2
		教材の開発と実践（公民）	2	教材の開発と実践（化学）	2	教材研究の基礎理論（鑑賞・創作）	2
		教材研究の基礎理論（英語学・言語科学）	2	教材研究の基礎理論（生物）	2	教材の開発と実践（鑑賞・創作）	2
		教材の開発と実践（英語学・言語科学）	2	教材の開発と実践（生物）	2	教材研究の基礎理論（歌唱）	2
		教材研究の基礎理論（第二言語習得）	2	教材研究の基礎理論（地学）	2	教材の開発と実践（歌唱）	2
		教材の開発と実践（第二言語習得）	2	教材の開発と実践（地学）	2	教材研究の基礎理論（絵画・彫刻）	2
				教材研究の基礎理論（電気）	2	教材の開発と実践（絵画・彫刻）	2
				教材の開発と実践（電気）	2	教材研究の基礎理論（デザイン・工芸）	2
				教材研究の基礎理論（機械）	2	教材の開発と実践（デザイン・工芸）	2
				教材の開発と実践（機械）	2	教材研究の基礎理論（美術理論・美術史）	2
				教材研究の基礎理論（材料加工）	2	教材の開発と実践（美術理論・美術史）	2
				教材の開発と実践（材料加工）	2		

課題研究

教材開発課題研究1	2	◎		◎		◎	
教材開発課題研究2	2	◎		◎		◎	
教材開発課題研究3	4	○		○		○	

特別支援教育コース コース別選択科目（16単位）

発展科目

特別支援教育総論	2
障害児の聴能の理論と実際	2
聴覚言語障害への心理学的対応	2
聴覚障害教育の理論と実践	2
聞こえの困難への教育的対応	2
認知機能の困難への心理的対応	2
運動機能の困難への心理的対応	2
保健医療福祉との連携と医療的対応	2
学校における支援体制	2
個別の指導計画の作成と実施	2
社会的自立・就労の指導	2
重複障害児の教育実践	2
読み書き困難への対応	2
計算・推論困難への対応	2
行動上の問題への対応	2
アセスメントの方法と総合的解釈	2

課題研究

特別支援教育課題研究1	◎	2
特別支援教育課題研究2	◎	2
特別支援教育課題研究3	○	4

無料公開講座でスキルアップ!!

愛媛大学教職大学院 公開講座

Skill Up & Career Up

The screenshot displays a grid of lecture cards. Each card includes a title, dates, duration, and a '申し込み' (Apply) button. A pink callout bubble on the right says '全国から著名な講師を招聘!!' (Recruiting famous lecturers from all over the country!!).

※ 特別支援教育コースは、基礎免許となる校種の専修免許状と特別支援学校教諭専修免許状の両方が取得できます。

ネットワークを活用した実習科目

実習科目（10単位）

- 異校種実習（1年次2週間＝2単位）
受験・配属予定とは別の校種で学びます。⇒組み合わせ自由です。
- 小規模校実習（1年次2週間＝2単位）
複式授業等について学びます。⇒小規模校×ICT
- 研究指定校実習（1年次3日間＝2単位）
全国から研究先進校を選び、訪問・観察します。⇒ICT教育の研究指定校
- 連携校実習（**1年次＝4単位**、2年次＝4単位＋2単位）
1年次は、週1.5日程度、学校で学びます。⇒週2日の実習

個々の成長/研究課題に応じた オーダーメイド実習

- 個々の職能成長課題に最大限に配慮した**オーダーメイド実習**。連携協力校**110校から実習校を選択**することが可能です。学びたいことが学べる実習システムです。（令和元年度より、高校17校、特別支援学校11校が参加）
- 学校側の実習担当者は、**エキスパート級の教員**。実務家教員、学校管理職、実習担当教員、研究者教員らのチームで実習を計画し指導にあたります。
- リーダーシップ開発コースでは、効果的な学校経営を実践している学校を県内から選び、実習として、定期的に学びに行くことができます。

M2の4月上旬に実施されるスタートアップ実習

M2期の実習校での非常勤併用制度

事例1：ICT支援員（年間約240万円程度）

午前に勤務、午後に実習・課題研究

事例2：附属学校非常勤講師（年間約120万円程度）

非常勤講師として授業ができる

事例3：県立私立高校非常勤講師（年間約120万円程度）

非常勤講師として授業ができる

実習校を非常勤講師としての勤務校に
公開授業を実施して報酬がもらえる!!

実習・授業・行事風景



全体風景



協議の様子



話していません



修生代表挨拶



あまりウケなかった現職教員の出し物



話していません



開会式



選手宣誓



教員チームの不動のエース



優勝した学部生チームの皆さん



思いやり溢れる場面



そこそこ健闘した2回生の皆さん

教職大学院 令和5年度 時間割〔リーダーシップ開発／教育実践開発〕

【前期】

	月	火	水	木	金
第1時限	(愛媛の教育改革準備)		巡回訪問指導予定	巡回訪問指導予定	課題研究
第2時限	◎愛媛の教育改革【松山センター他】	◎授業における学習支援と指導法の事例分析【321】	巡回訪問指導予定 ◎子どもの資質・能力を高める学校経営論【321】	巡回訪問指導予定	課題研究
第3時限	◎授業研究の開発実践【321】	◎授業開発の理論と実際【321】	実習校からの移動	巡回訪問指導予定	◎学校組織のリーダーシップ【多目的①】
第4時限	◎小学校英語教育の実践研究【102】		◎特別支援教育の理論と実践【多目的①】	巡回訪問指導予定	◎子どもの発達と感情【402】 ◎データを活用した学校経営(調査法)【ICTクラスルーム】
第5時限	◎教員の成長と職業倫理【多目的①】	◎子ども理解の心理的アプローチ(調査法)【多目的①】	◎教師のライフヒストリー省察と資質能力開発【多目的①】	巡回訪問指導予定	実習事前事後指導等 エクステンション
集中	◎心の教育の理論と実践(8/7～8/9) ◎生徒指導・進路指導の実践研究(未定) ◎学級経営の理論と実践(8/2～8/4) ◎地域協働型デジタル教材開発演習 ◎チーム学校協働演習				

※実習について、ストレートマスターは、木曜終日と、水曜午前。現職は木曜のみ。
※◎は専攻共通基礎科目、●はリーダーシップ開発コース科目、○は教育実践開発コース科目

【後期】

	月	火	水	木	金
第1時限			巡回訪問指導予定	巡回訪問指導予定	課題研究
第2時限	●人材育成演習	○教材開発高度化演習	巡回訪問指導予定 ●信頼を構築する学校危機管理	巡回訪問指導予定	課題研究
第3時限	●地域とともにある学校の経営	○学級経営の事例研究	実習校からの移動	巡回訪問指導予定	○進路指導の実践研究 ●エビデンスに基づく教育政策・事業分析
第4時限	○特別な教育ニーズへの対応	○集団づくりの道德論的アプローチ ○ソフトウェアを活用した校務支援	○生徒指導と特別活動の実践研究 ○ICTを活用した授業実践開発	巡回訪問指導予定	○プログラミングを活用した授業実践 ○生徒指導機能を生かした学習指導
第5時限	○児童生徒・保護者の教育相談実践 ○デジタル教材開発とその利用方法	※教育実習 事前・事後指導	○教育課題解決のための教育プログラム開発実践	巡回訪問指導予定	※四国4大学遠隔授業 (現職教員)
集中	○子どもの問題行動の事例研究(未定) ●カリキュラムマネジメントと校内研修(未定) ●教員プログラム開発演習・単位互換授業(9/17, 10/1, 10/29) ●学校改善の実践的研究・単位互換授業(11/25, 11/26, 12/23)				

愛媛大学教職大学院

PROFESSIONAL SCHOOL FOR TEACHER EDUCATION

EHIME UNIVERSITY

実践研究報告書

PRAXIS AND RESEARCH REPORT

Volume 1 March 2018

 愛媛大学教職大学院
PROFESSIONAL SCHOOL FOR TEACHER EDUCATION
EHIME UNIVERSITY

**学会発表・学会誌掲載レベルの
課題研究を目指しています!!**

第1号 2017年度刊行

第2号 2018年度刊行

第3号 2019年度刊行

第4号 2020年度刊行

第5号 2021年度刊行

第6号 2022年度刊行

教員組織

- 特色1. 70名以上の教員スタッフによる指導体制。
- 特色2. 愛媛県内で教員経験を有する実務家教員を多数配置。
- 特色3. 学習指導要領解説や生徒指導提要の執筆者、教科書執筆者、文部科学省及び関連機関で働く教員、放送大学の講座を持つ教員、海外で多数表彰されている教員、学会の会長・理事クラス、全国で講演・研修活動を展開している教員等、特色ある教員を多数配置。

2023年度 教職大学院の教員組織（専任教員）

http://ed.ehime-u.ac.jp/kyoushoku/education/education_05/

researchmap

日本語 | English 新規登録 ログイン



露口 健司
ツユグチ ケンジ (Kenji Tsuyuguchi) 更新日: 04/25

研究キーワード	研究分野	経歴	学歴	委員歴	受賞	論文	MISC	書籍等出版物	講演・口頭発表等
担当経験のある科目(授業)	所属学協会	共同研究・競争的資金等の研究課題	学術貢献活動	社会貢献活動					

メニュー

マイポータル

研究ブログ

資料公開

共著者の一覧

基本情報

所属 [愛媛大学 教育学研究科](#) 教授

学位 博士(教育学)(九州大学)

J-GLOBAL ID [200901042143798944](#)

研究キーワード **7**

[社会関係資本](#) [信頼](#) [リーダーシップ](#) [教職論](#) [学校改善](#) [幸福](#) [ワーク・エンゲイジメント](#)

研究分野 **1**

• [人文・社会 / 教育学 /](#)

約70名の教員が指導にあたります!!

【教員一覧はコチラ】
https://ed.ehime-u.ac.jp/kyoushoku/education/education_05/

実務家教員（敬称略）

- 城戸茂、一色芳枝、佐藤栄治、藤原一弘
- 山本浅幸、中尾茂樹、掛水高志、田頭良博
- 榎木暢子、加藤哲則、富田享子
- 秋山敏行、井上昌善、井上洋一、楠俊明、立松大祐、玉井輝之

※おおむね20年以上の教職経験等が必要。

※教職大学院専任教員の4割以上は実務家教員でなければならない。

※下線は、愛媛県教員経験者

入試・教員採用試験 実績

- 特色1. 愛媛県小中学校 創設以降合格率100%
- 特色2. 高校合格脅威の75%
- 特色3. 創設以降退学・休学ゼロ
- 特色4. リーダーシップ開発コースは、約70%が修了後、指導主事・教頭として活躍しています。

H28年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	17名	15名	14名

H29年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	6名	6名	6名
教育実践開発コース	10名	20名	13名	13名

H30年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	22名	15名	12名

H31年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	28名	18名	18名

R2年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	3名	3名	3名
教育実践開発コース	10名	13名	12名	12名
教科領域コース	15名	28名	24名	21名
特別支援教育コース	10名	7名	7名	7名
計	40名	51名	46名	43名

R3年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	16名	15名	13名
教科領域コース	15名	31名	25名	22名
特別支援教育コース	10名	6名	6名	5名
計	40名	58名	51名	45名

※志願者はのべ人数

R4年度入試実績

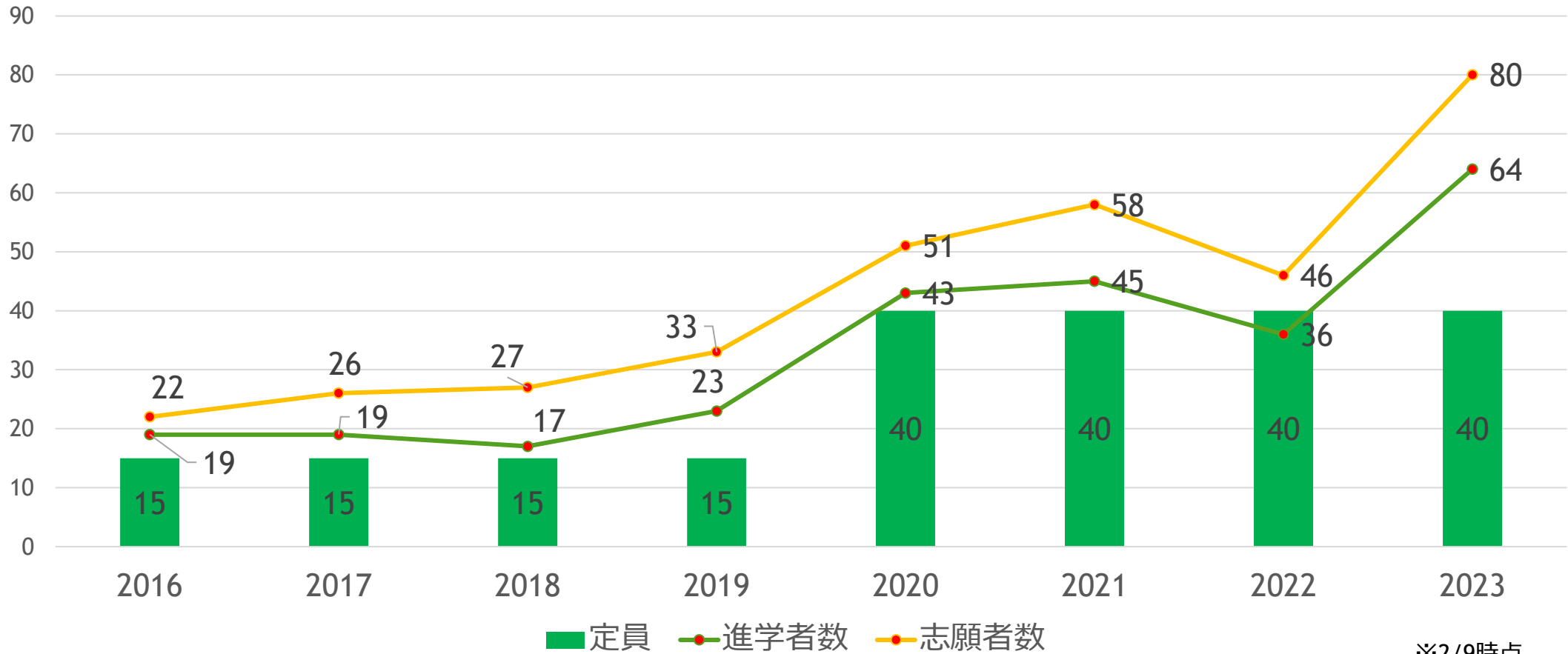
	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	6名	6名	6名
教育実践開発コース	10名	10名	9名	9名
教科領域コース	15名	21名	20名	14名
特別支援教育コース	10名	9名	9名	7名
計	40名	46名	44名	36名

R5年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	23名	19名	19名
教科領域コース	15名	41名	37名	33名
特別支援教育コース	10名	7名	7名	7名
計	40名	80名	68名	64名

※志願者はのべ人数

コロナ禍でも一定の志願倍率!!



※2/9時点

※学部段階での合格者を含む

教員採用試験結果【愛媛志願者】

H28年度入学生

	受験者	合格者	合格率
愛媛県 小学校	6	6	100%
愛媛県 中学校	6	6	100%
愛媛県 高等学校	0	0	—
合計	14	14	100%

H29年度入学生

	受験者	合格者	合格率
愛媛県 小学校	6	6	100%
愛媛県 中学校	3	3	100%
愛媛県 高等学校	1	1	100%
合計	10	10	100%

H30年度入学生

	受験者	合格者	合格率
愛媛県 小学校	3	3	100%
愛媛県 中学校	4	4	100%
愛媛県 高等学校	0	0	—
合計	7	7	100%

教員採用試験結果【愛媛志願者】

H31年度入学生

	受験者	合格者	合格率
愛媛県 小学校	3	3	100%
愛媛県 中学校	4	4	100%
愛媛県 高等学校	4	1	25%
合計	14	11	79%

R2入学生

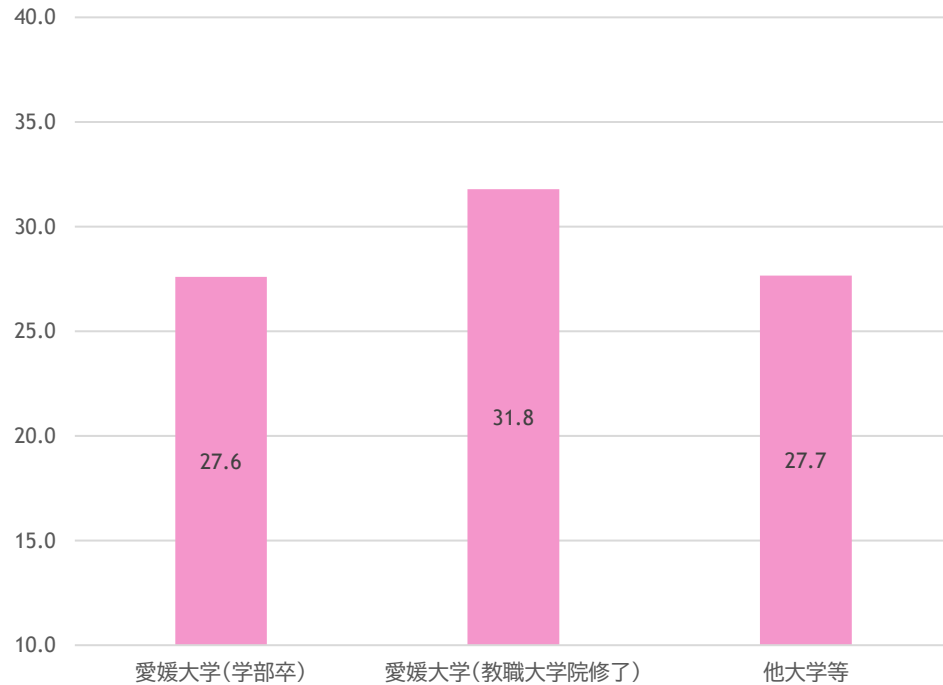
	受験者	合格者	合格率
愛媛県 小学校	7	7	100%
愛媛県 中学校	6	6	100%
愛媛県 高等学校	7	4	57%
合計	20	17	85%

R3入学生

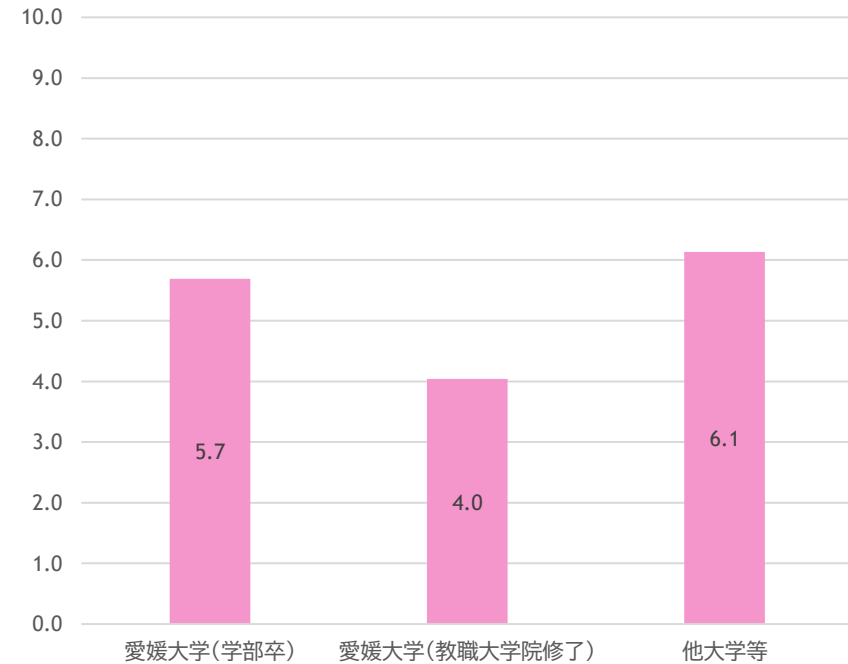
	受験者	合格者	合格率
愛媛県 小学校	10	10	100%
愛媛県 中学校	6	6	100%
愛媛県 高等学校	6	2	33%
合計	22	18	82%

20歳代×教諭×小中学校

ワーク・エンゲイジメント(0-54)



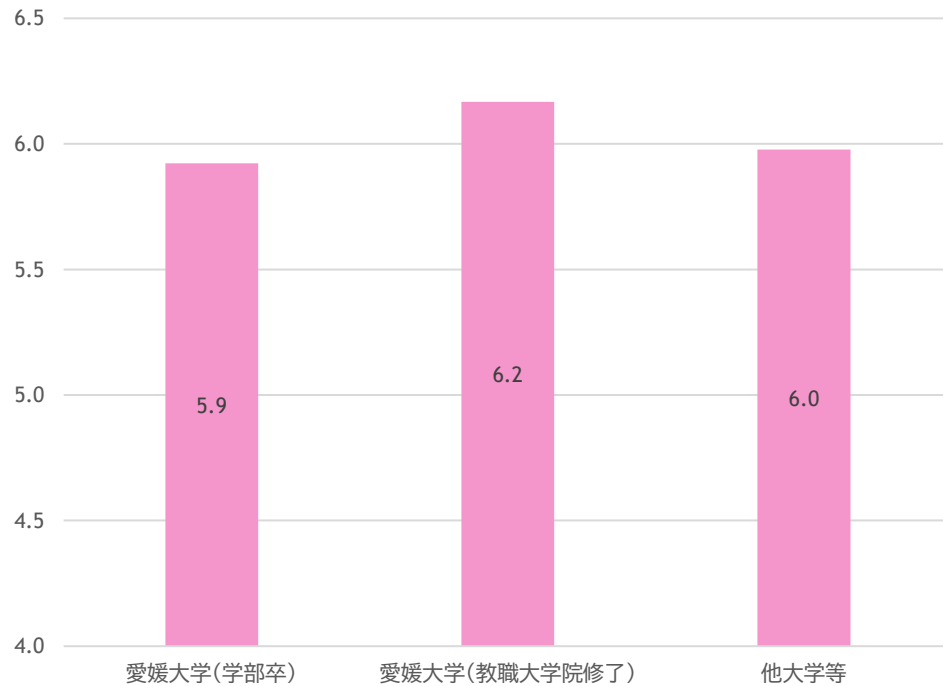
抑鬱傾向(0-24)



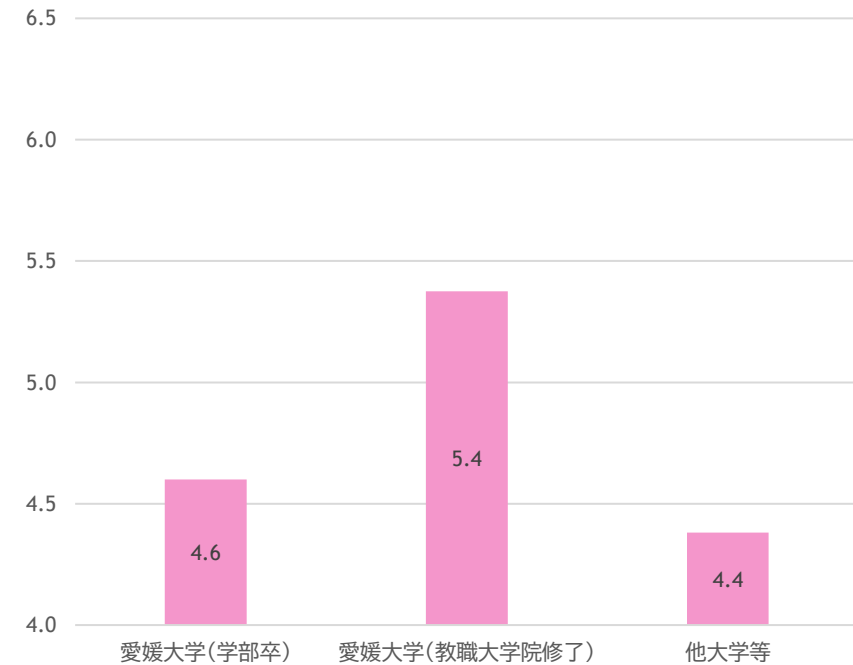
※愛媛大学(学部卒)N=130, 愛媛大学(教職大学院)N=24, 他大学等N=407

20歳代×教諭×小中学校

主観的幸福感(0-10)



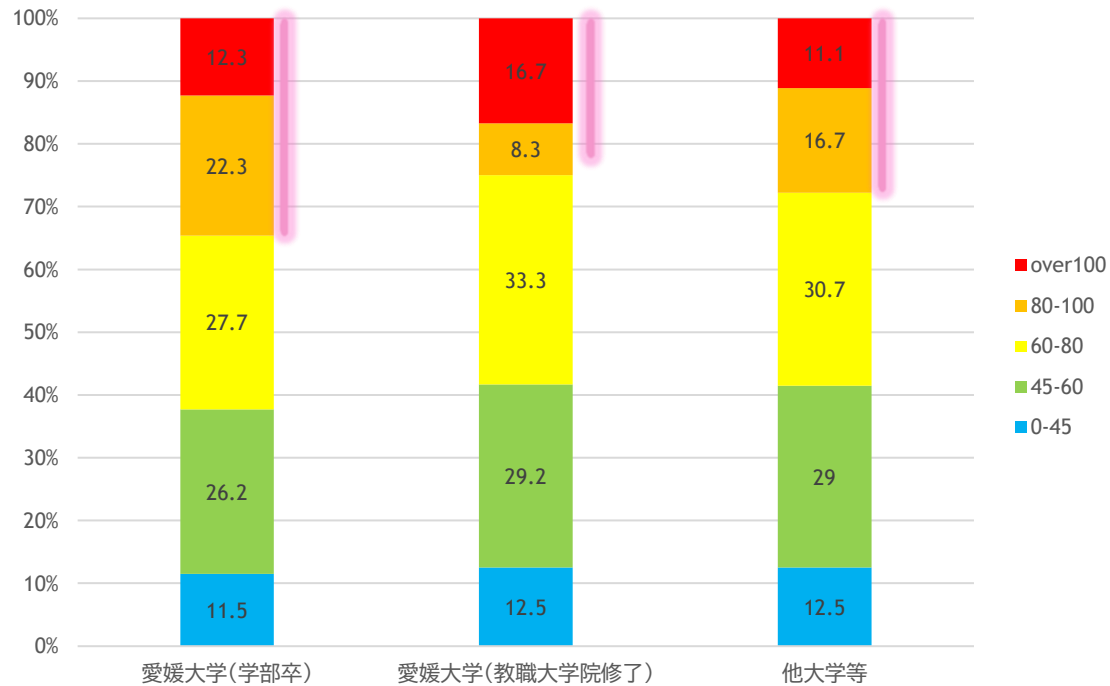
学びの実践(0-9)



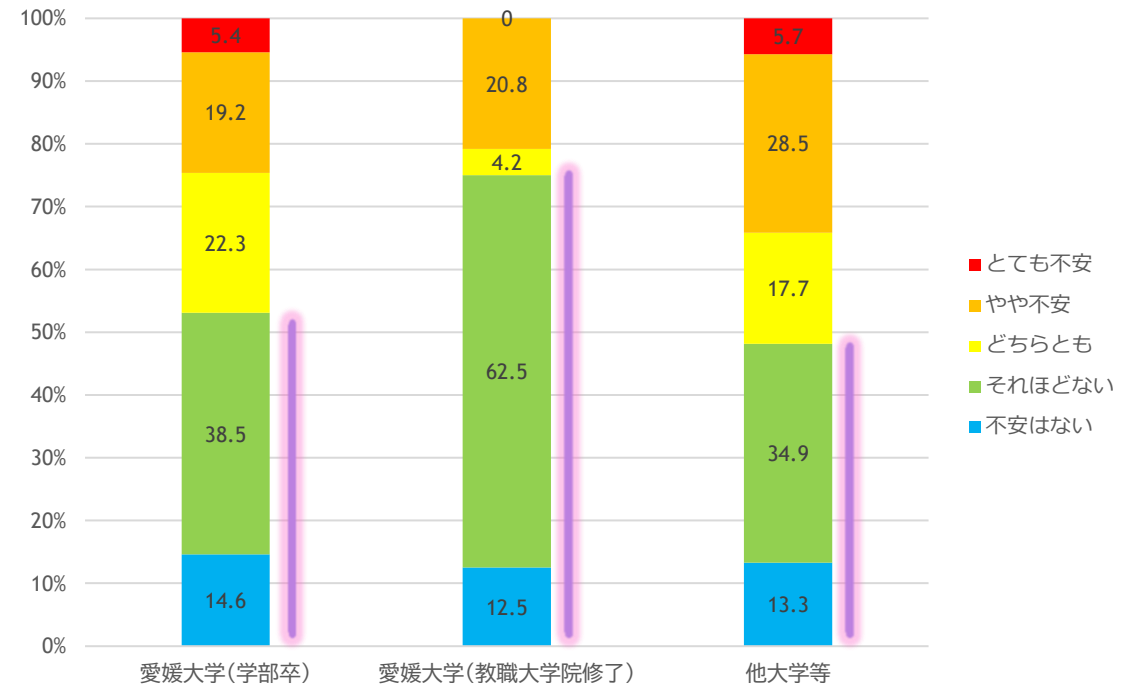
※愛媛大学(学部卒)N=130, 愛媛大学(教職大学院)N=24, 他大学等N=407

20歳代×教諭×小中学校

時間外勤務時間



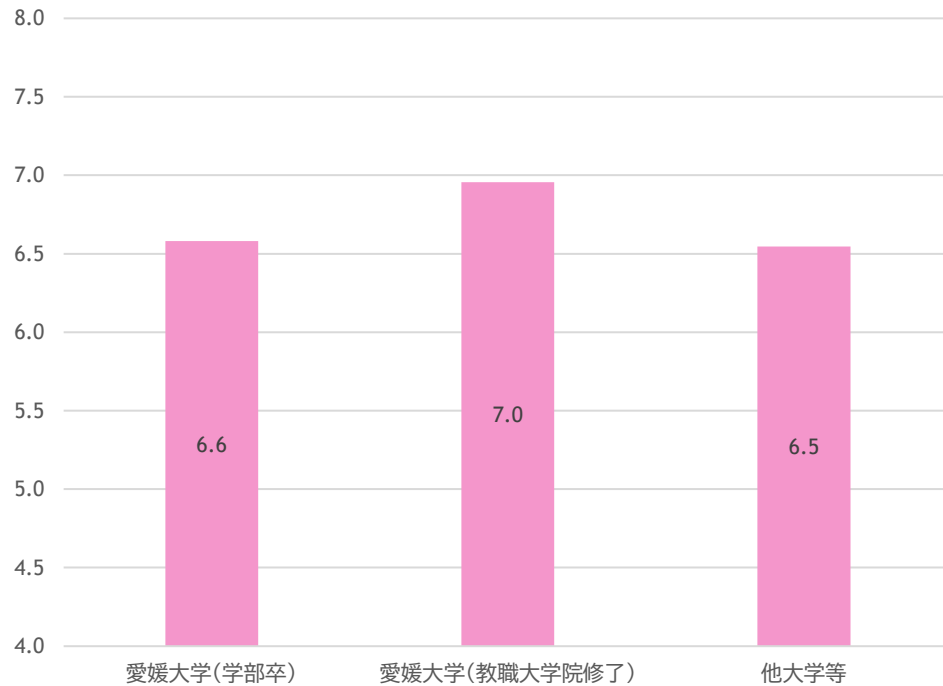
ICT活用不安



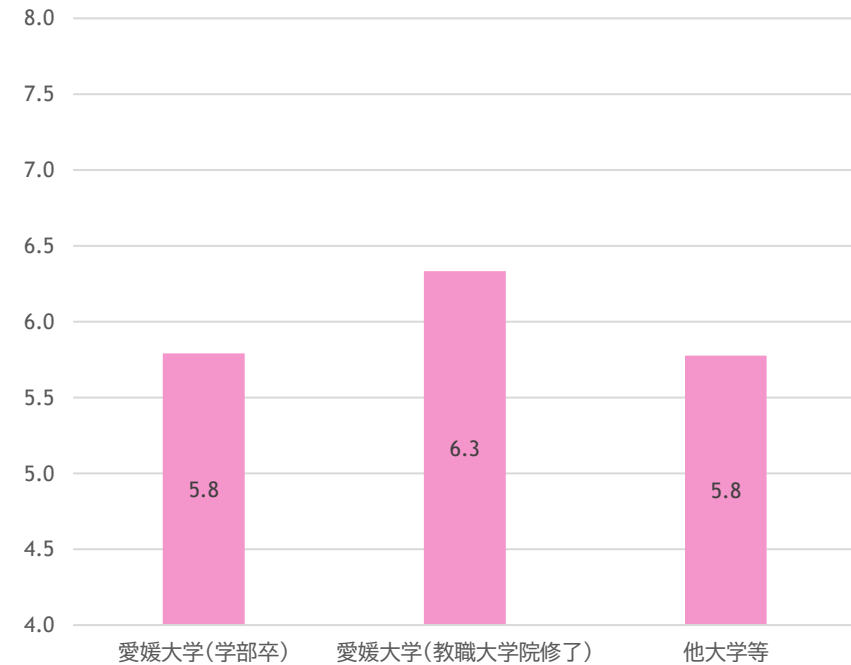
※愛媛大学(学部卒)N=130, 愛媛大学(教職大学院)N=24, 他大学等N=407

20歳代×教諭×小中学校

児童生徒信頼(0-10)



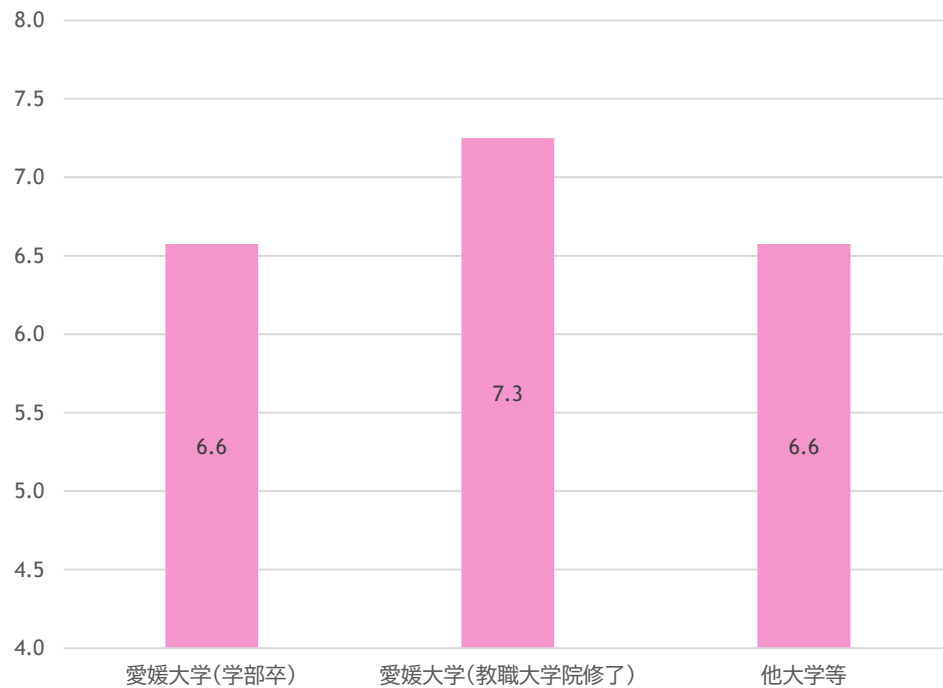
保護者信頼(0-10)



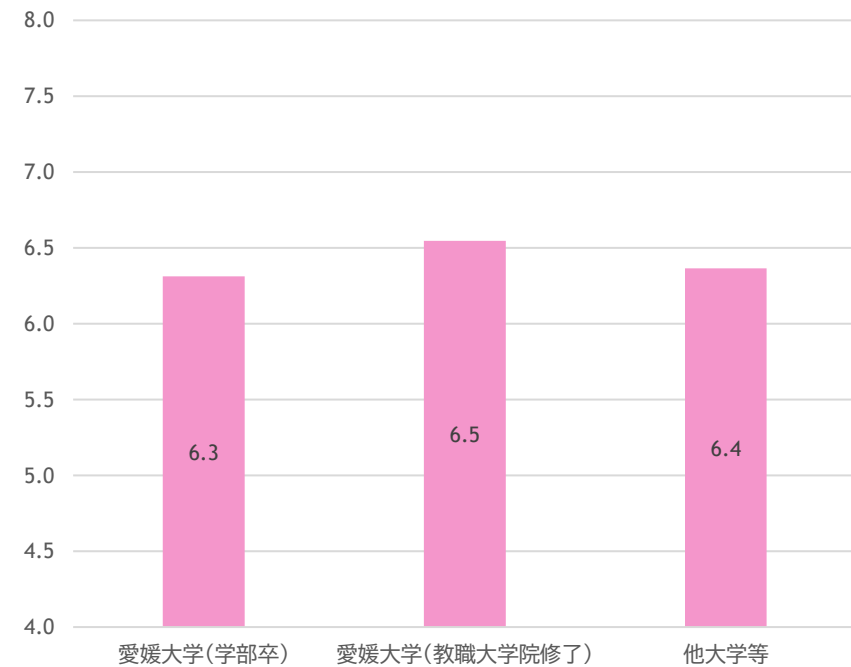
※愛媛大学(学部卒)N=130, 愛媛大学(教職大学院)N=24, 他大学等N=407

20歳代×教諭×小中学校

同僚信頼(0-10)

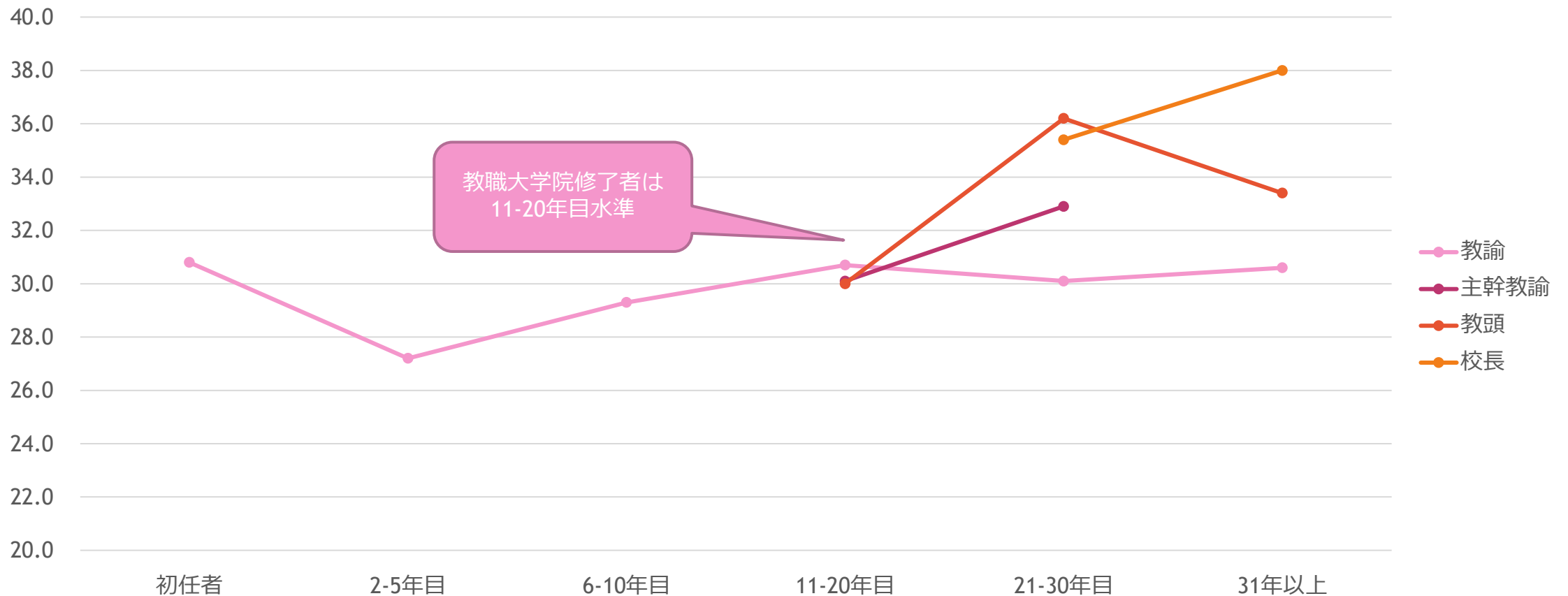


管理職信頼(0-10)

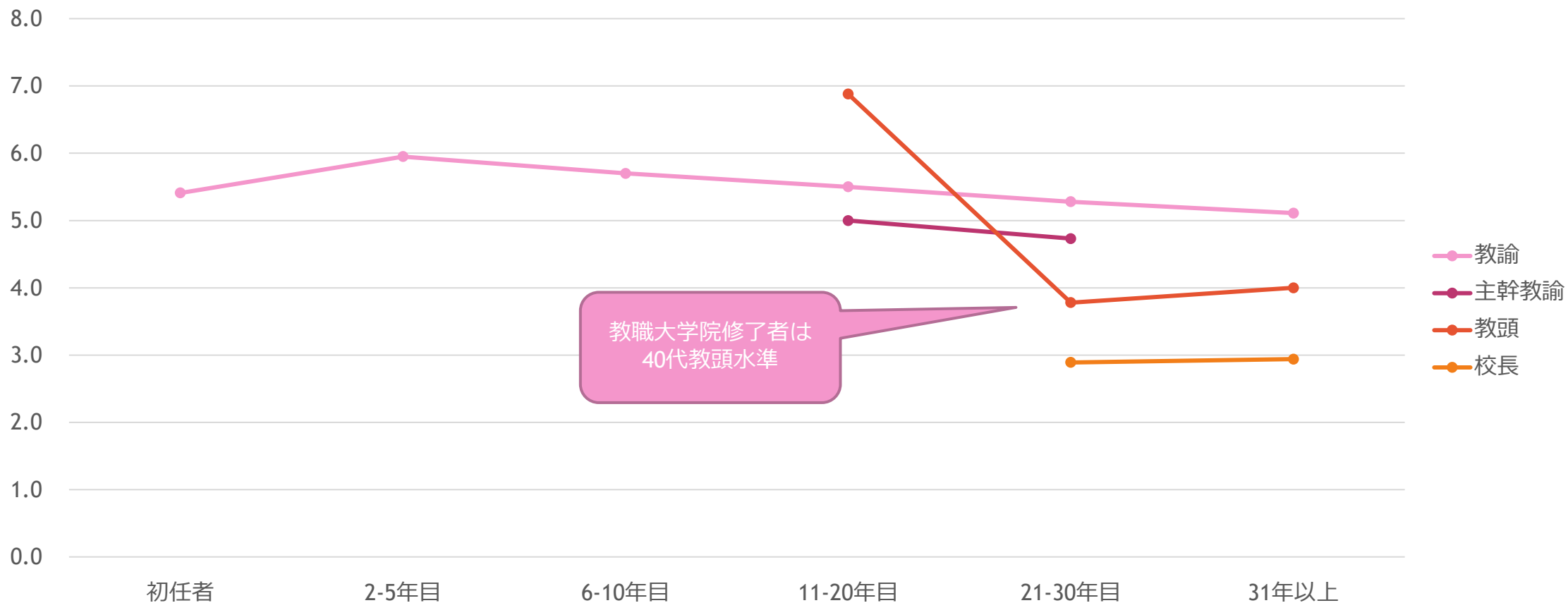


※愛媛大学(学部卒)N=130, 愛媛大学(教職大学院)N=24, 他大学等N=407

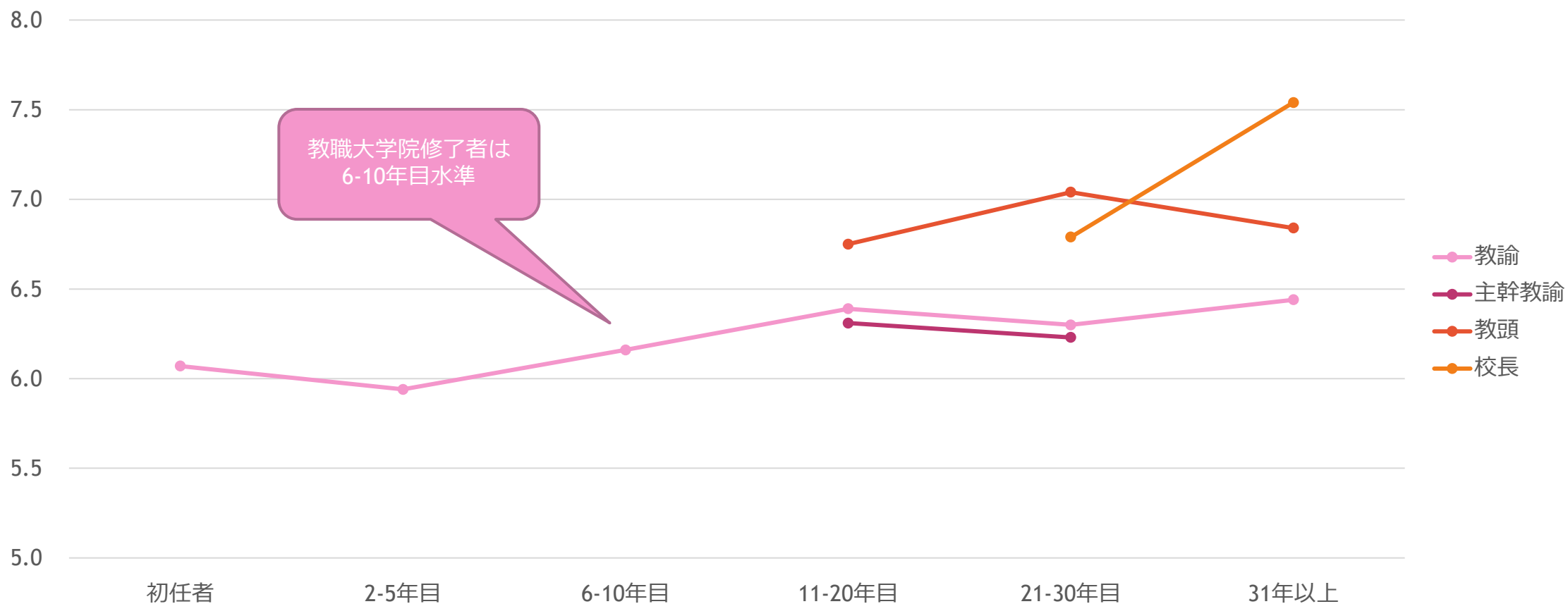
各キャリアにおけるワーク・エンゲイジメントの推移



各キャリアにおける抑鬱傾向の推移



各キャリアにおける主観的幸福感の推移



リーダーシップ開発コース修了生 追跡調査〔2017年度より計28名〕

	就任者数	比率	
教頭	11名	39%	修了生の68%が管理職相当の ポストに就任
指導主事	7名	25%	
主幹教諭	1名	4%	
教務主任（課長）	4名	14%	1名は教頭試験合格済み
進路主事（課長）	1名	4%	
学科長	1名	4%	
その他	3名	11%	
計	28名	100%	

募集要項について



入試日程

〔9月募集〕

試験日 : 9月11日 (月)

出願期間 : 7月31日 (月) ~ 8月4日 (金)

合格発表 : 9月21日 (木)

出願資格（専攻全体）

- 基本的に大卒で1種免許状所有者（取得見込み含む）
※これに該当しない方は事務にご相談ください

出願資格（現職教員等）

- リーダーシップ開発コース
 - 5年以上の教員経験と主任職経験等がある
 - 連携協力による派遣職員（附属学校等が対象）
- 教育実践開発・教科領域・特別支援教育コース
 - 5年以上の教職経験
 - 連携協力による派遣職員（附属学校等が対象）

出願書類等

- 入学願書
 - 【リーダーシップ開発コース志願者は職歴欄に主任職経験等も記入】
- 受験票・写真票
- 写真
- 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書、あるいは学位授与証明書
- 教育職員免許状授与証明書又は教育職員免許状の写し
- 教育職員免許状取得見込証明書
- 成績証明書
- 課題レポート
- 推薦書【現職教員等のみ】
- 実習科目免除申請願及び実践・研究実績等【現職教員等のみ】**
- 検定料払込証明書
- 受験票等送付用封筒
- 志願者名票

実習科目免除申請について

修了要件10単位の实習科目のうち、「連携校実習1」「特別支援教育連携校実習1」を除いた最大6単位までを免除できる制度です。

4単位以上の実習科目免除が認められ、試験に合格した場合、1年修了プログラムを履修することになります。

作成にあたっては、（参考）欄を精読ください。

選抜方法

- 学力試験科目及び試験時間
 - 面接（口述試験を含む）
 - 提出された書類、課題レポートに基づく面接
 - 9:00～ （1名15～20分）

課題レポート【2課題提出】

- 課題a

勤務校（過去の勤務校を含む）及び、実習校やボランティア校等における教育活動において、「①最も力を入れた活動」、「②成果と課題」及び「③その活動を通して学んだこと及び高まった教師としての資質・能力」について記述しなさい。【1,000字程度】

- 課題b

選択したコースにおいて、入学後に取り組みたい実践研究について、「①研究テーマ」、「②テーマ設定の理由」及び「③研究の内容及び方法」について記述しなさい。【1,000字程度】

配点

- 書類審査：100点
- 課題レポート：100点
- 面接（口述試験含む）100点

- 合計 300点満点

採点・評価基準

● リーダーシップ開発コース

- ・書類審査：リーダーシップ開発に係る適性について評価します。
- ・課題レポート：学校経営に関する専門的学力について評価します。
- ・面接：学校経営に対する意欲・課題意識・分析力等について評価します。

● 教育実践開発コース（例）

- ・書類審査：教育実践開発に係る適性について評価します。
- ・課題レポート：教職に関する専門的学力について評価します。
- ・面接：教職に対する意欲・課題意識・分析力等について評価します。

長期履修学生制度

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程の履修を認めることができる長期履修学生制度を導入しています。

長期履修学生を希望することができる者は、以下の通りです。

- ①現に職業に従事している者
- ②教育職員免許状を取得するために長期履修が必要と認められる者
- ③その他やむを得ない事情があると研究科長が特に認めた者

修業年限

長期履修学生制度の適用を受けた学生の修業年限は、学則に規定された就業年限（2年）に1年を加えた年数とします。なお、修業年限の変更はできません。

授業料

標準修業年限（2年間）の授業料納入となります（357,000円×3年間）。

授業料

入学料 282,000円
授業料 半期267,900円

- 入学料・授業料の免除制度
- 奨学制度 日本学生支援機構
 - ・無利子 月額50,000円, 88,000円から選択
 - ・有利子 月額5万, 8万, 10万, 13万, 15万から選択

現職教員 1年制修了プログラム

4単位以上の実習科目免除が認められ、試験に合格した場合、1年修了プログラムを履修することになります。

1年制修了プログラムを履修する現職教員には、修了翌年にフォローアッププログラムへの参加が義務づけられます。週末又は夏季・冬季休業期間中に開講される課題研究フォローアップゼミに参加し、教職大学院研究発表大会等において研究成果を発表します。

質問タイム

